



「人間は何のために生きるか」を問う感動の 800Km の旅

今回は、村上進学塾の岩堀先生が世界でも珍しい道の世界遺産に登録されているサンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路を旅したお話をご紹介します。

サンティアゴとは、キリストの12使徒のひとり、聖ヤコブのこと。サンティアゴ・デ・コンポステーラの街に彼の遺骸が祀られており、ローマ・エルサレムと並んでキリスト教の三大巡礼地に数えられ1000年以上の歴史を持つ聖地への道。聖ヤコブが祀られた聖地への巡礼路、それが「Camino de Santiago」。

巡礼路のルートは1つではなく、すべての道はローマに通ずのように、実際ヨーロッパではすべての道はサンティアゴまで通じています。

岩堀先生は、ピレネー山脈の麓にあるフランスのサン・ジャン・ピエ・ド・ポーを出発地とし、ピレネー山脈を超えスペインを東から西へ約800Km横断するフランスの道を35日かけ歩きました。

ここからは、岩堀先生からのメッセージです。

この経験を通して感じたこと、それは、人生の目的地に到るためには、自分の足で一歩一歩前に進むしかないということ。しかし、自分の足で歩き始めた時に、友・仲間・両親に感謝の思いが湧き出し、涙が出て止まらなくなる。

そう自分一人ではない。多くの人達に支えられているのだ。見守られている自分を自覚した人間は強くなり、やさしくなるものである。

さあ、今日の一歩は自分の大切な人生の一部なのである。感謝の気持ちで一歩一歩進もうではないか。

そう、あの時と同じように
Buen Camino!

< Eyes : 齊藤 >



←このサインを目印に歩きます



サンティアゴ大聖堂に到着



巡礼証明書と
クレデンシャル
(巡礼手帳)



メセタ(スペイン)の大地
日陰のない道
約40℃の中を歩きました



知り合ったファミリア

「グローバルに展開するものづくり」

今回は、今年4月から千歳市柏台に新工場を操業開始した『株式会社 FJコンポジット』様をご紹介します。この度、代表取締役 津島様 にお話を伺いました。

会社の設立は平成14年2月。静岡県富士市にて誕生したベンチャー企業です。FJは地名に由来していて、富士(Fuji)市で、先端技術分野で使われている複合材料(Composite)を製造する会社として社名を決めたそうです。

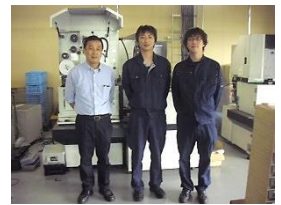
津島社長は大学卒業後、大手石油会社の研究所で炭素繊維及びその複合材料を開発する研究者で有り、当時から強い複合材料を作るために研究を重ねて現在に至っています。事業内容としては特殊な複合材料の開発・製造・販売を手掛けております。

この複合材料は、主に半導体・LED・液晶・太陽電池に組み込まれます。国内はもとより世界でも数少ない特殊な材料で、大手企業へ提供しています。津島社長は 他社では真似の出来ない複合材料の開発 に力を注いでユーザーから認められる企業を目指しています。

< 取締役 : 奥山 >



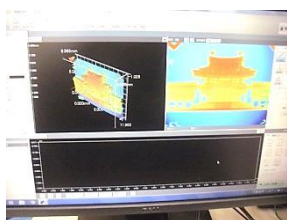
最新のデザインで
完成した社屋



写真左が津島社長
若手スタッフも常に研究を
重ねて、価値ある商品を...



この高額な設備機械でその都度ユーザーからのオーダー品のプログラムを組み込み製造。



商品化するためにも
製品を入力し3D画像で確認



特許技術開発で製造された
複合材料



国内は勿論
グローバルに注目されている
企業です。

『古き良き美しい日本に触れる旅』



私的なお話で大変恐縮ですが、6月某日より鎌倉旅行へ行っていました。当初の予定では某国外へ行く予定だったのですが、諸事情によりキャンセルを余儀なくされてしまいました。海外へと向いていた自分の心を「サ・日本」的な場所で癒し清めるため、鎌倉に行っていました。多くの方が修学旅行で行かれているのではないかと思います。私にとっては初鎌倉です。若かりし頃は人のにぎわう華やかな場所を選んでいましたが、年齢のせいが静寂と古(いにしえ)と日本美的な場所を希望するようになりました。

6月の鎌倉と言えば紫陽花が見ごろです。青や紫や白の紫陽花としなやかにのびる竹林…神社などの歴史的建造物との美しい描写。期待度満点でいざ鎌倉へ！当日はあいにくの雨。そこまで強く降っていませんでしたので雨と紫陽花の調和が美しい！あゝ素晴らしい日本！北鎌倉の駅から円覚寺、紫陽花のきれいな明月院へ。6月だからでしょうか、すごい数の観光客と修学旅行と思われる学生がいて行列になっていました。閑静な神社で美しさを堪能する気でしたが、人・人・人で静寂などありません。人ゴミで渋滞し拝観するにも時間がかかりました。次に鶴岡八幡宮に行き、お守りを入手。普段車ばかりを使っている生活なのにこまめずっと歩き移動で足も疲れてきていました。ですが次は最難関の坂道がある銭洗弁天へ行ってお金を洗い、ご利益を受けなくてはなりません。ご利益の為に歩き続けます。銭洗弁天を出ると、さらに頂上へ行けば縁結びの神社があると表示されていました。これは行かなくてはなりません！！つらい急勾配をせいせい言いながら登り、縁結び祈願しました。そして次の目的地、鎌倉大仏へ向かうため急勾配を下ろうと



雨の竹林 風情があります

縁結びの神社で願掛け。女性は男石、男性は女石に5円を結びます。



紫陽花がキレイな明月院のお地藏様

したら手書きで「大仏 1.9km (45分)」という看板が。来た道とは違うものの約2kmで着くなら近道であろうと考え矢印の方向へ侵入。少しすると「大仏ハイキングコース」という看板が。ハイキングというくらいだから マイナスイオンが降りそそぎ草木を堪能しながら歩く…程度にしか思っており、2kmなのに45分もかかることや雨で地盤がぬかるんでいる事など深く考えもしませんでした。最初は自然を堪能していたものの、どんどん険しくなる道に口数が減り体力も消耗していき「これはおかしい？」と気づいた時には半分まで来ていました。雨で足元が滑りやすくなっており、このまま滑落してしまうのではないかと危険な状況で、一緒にいた友人がサンダル履きでいかにも「登山に軽装で来る非常識な人」と化して、足も泥だらけで顔は疲れ果てていて、たまにすれ違う登山に適した格好の方々には私たちを見るたびに驚いていました。なんとか無事に下山できたものの、正確な時間はわかりませんが45分をはるかに超える時間で鎌倉大仏へと到着。手水舎で泥だらけの足を洗い痛む足をこらえ大仏様とご対面してまいりました。静寂と古(いにしえ)の日本美を堪能するはずが、どうも お遍路が荒行か？のような 鎌倉旅行でした。



のどかなイメージだと思っていた『江ノ電』ですがラッシュアワーのような混み具合で、景色を堪能するどころではなく…

鎌倉 といえば『生しらす丼』



各地で『地ビール』を飲み比べ。



湘南バーガーをバクリ！

『ランナー気分』 6月7日に開催された『第35回千歳JAL国際マラソン』に、ランナーとして2名、ボランティアとして9名が参加しました。ボランティアの担当は第7給水所で、ハーフ・フルマラソンの方々のゴールまであと数キロの場所で、ランナーにとってはとても苦しいところだそうです。新人の私たちは先輩ボランティアの方から指導をいただきながら作業を進めました。アミノバリュー、水、フード（塩、レモン、バナナ、パン、カロリーメイト）とスポンジのサービスが主な仕事ですが、ランナーの皆さんへの応援も大事な仕事。ランナーの皆さんの多くは笑顔やガッツポーズで声援に答えてくれ、一生懸命ゴールを目指し走っていきました。



ビックリしたのはトップランナーの速さ。フルマラソンを2時間台で走るランナーの皆さんのスピードはテレビで見るものとは違い、すでに35キロを走ってきた人には思えない速さでした。第7給水所はボランティアの方々のみで構成されている場所で、面識のない皆が一丸となつての共同作業はとてもいい経験になりました。また、色々な楽しみ方で走るランナーの皆さんの姿がとても素敵で、充実した一日を過ごす事ができました。

< Eyes : 小泉 >

<< 臨時休業のお知らせ >>

通常 土曜日の午前中は営業しておりますが
社内行事のため7月18日(土)は誠に勝手ながら、臨時休業
とさせていただきます。

発行元 : (株) カミノ
TEL : 0123-23-4255 / FAX : 0123-24-1381
E-mail : kamino@kamino.co.jp
ホームページ : <http://kamino.co.jp/>
(カミノトピックスのバックナンバーもご覧いただけます)